

いちおかいちばん

一丘中学校だより

2022.10.3

たくさんの応援ありがとうございました



一丘中学校ブログ

9月30日に行われた第48回体育大会。学校ホームページ（ブログ）でもお伝えしましたとおり、平日にもかかわらず267名もの保護者の方々にご来校いただき、Youtubeでのライブ配信も160回以上の再生をいただいています。本当にありがとうございました。

開会のあいさつは「今日の主役は生徒！！」というきわめて短いものでしたが、考え抜いた結果あの言葉を選んだのにはちょっとした秘話があります。

大会二日前、生徒会長のあいさつ原稿が届きました。すばらしい文章で、保護者の方々への感謝の気持ちや、最高の思い出を作りたいという熱い思いが綴られていました。これが一丘中学校だと思いました。私が多くを語る必要はないと思いました。

私は予行の準備をしてくれていた3年生のあるクラスの学級代表を呼び止めて相談にのってもらいました。私からは開会式の場でどんな話がふさわしいかと。すると彼はこう言いました。

「校長先生の話の中で『主役は生徒』という言葉が今までで一番衝撃的で印象的です。でも本当に学校はそうあるべきだし、自分たちも主役としてもっと自覚をもってがんばらくちゃいけないと思うんです。だからそんな言葉が欲しいです。」

それを聞いて私は彼にお願いをしました。

「では、とくに主役であるべき3年生のみなさんに問いかけるので、みんなの声を聞かせてほしいです。あと1日で3年生のみんなに君から声をかけてもらうことができますか？」

彼は「まかせてください」と言ってくれました。

正直言って半信半疑でした。「今日の主役は？」と尋ねてもシーンとして返事が返ってこず、朝礼台ですっこけるというパターンも想定していました（笑）。

3年生のみんなから「生徒！！」という大きな声が返ってきた時には震えました。

生徒が主役の学校とはどんな学校なのでしょう。主役とはただ目立つことではありません。主役だから主役にふさわしい行動も求められるでしょう。一丘中学校の生徒は、粘り強くいろいろなことにチャレンジして美しく輝く学校の主役であってほしいと願っています。そしてこれからもすてきな思い出をいっぱい作りましょう。おつかれさまでした。